

磐梯山

○概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

・地震活動（図2～3）

火山性地震は13回（9月8回）と少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・噴煙活動（図4）

遠望観測（監視カメラ）では、山体北側火口壁の噴煙の高さは50m以下で低調な状態が続いています。

・地殻変動（図5～6）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

・熱活動（図7～8）

6日に現地観測を実施しました。今年5月の現地観測結果と比較した結果、噴気・地熱地帯の状況に変化はなく、静穏な状態でした。

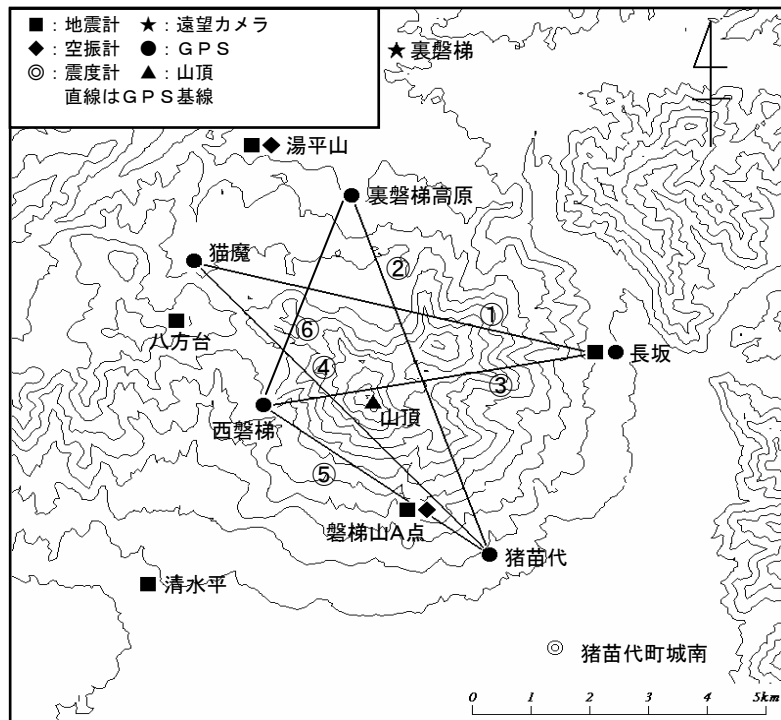


図1 磐梯山 火山観測点配置図

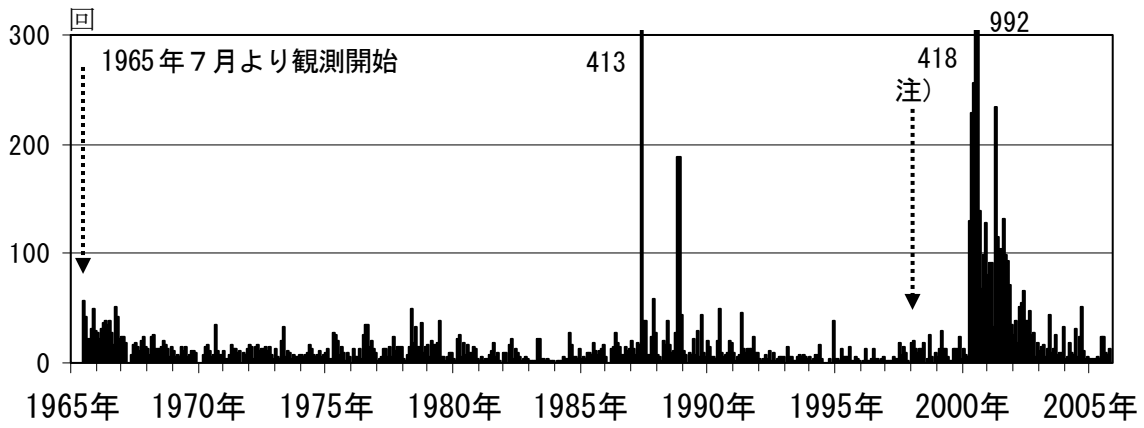


図2 磐梯山 月別地震回数(1965年7月～2005年10月)

注) 1998年より検測基準変更、また2000年10月に観測点移設

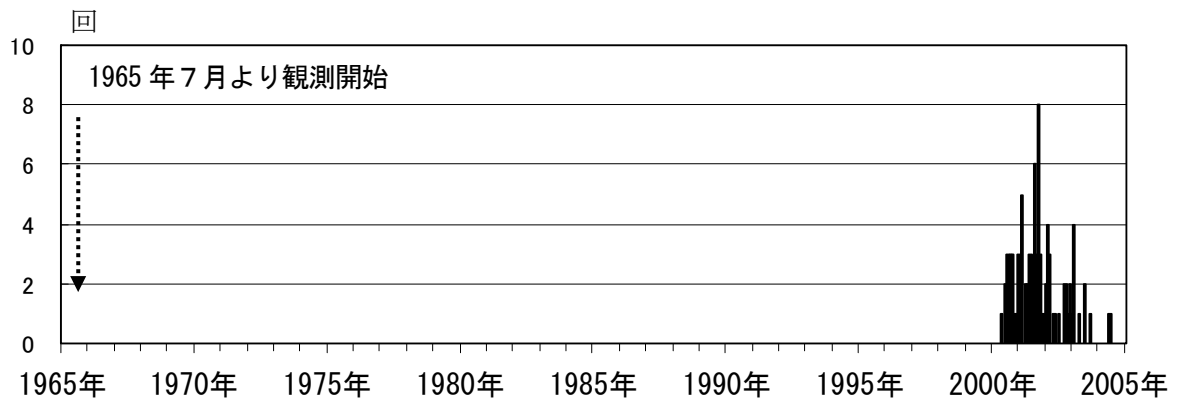


図3 磐梯山 月別微動回数(1965年7月～2005年10月)

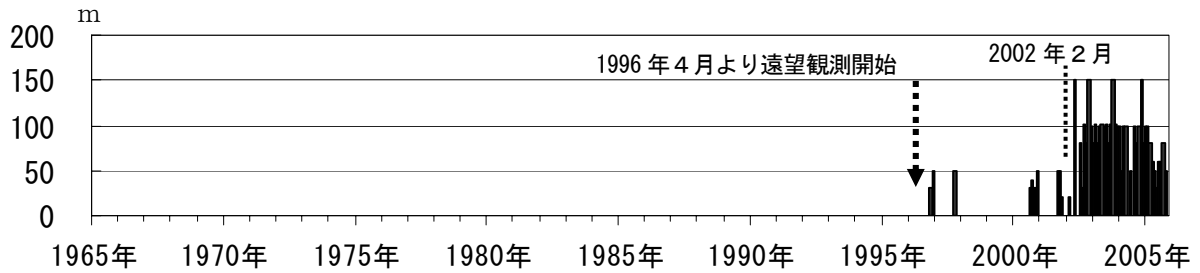


図4 磐梯山 月最大噴気の高さ(1996年4月～2005年10月)

2002年2月以前は定時及び随時観測データ。2002年2月以後は収録データにより全ての時間を精査。

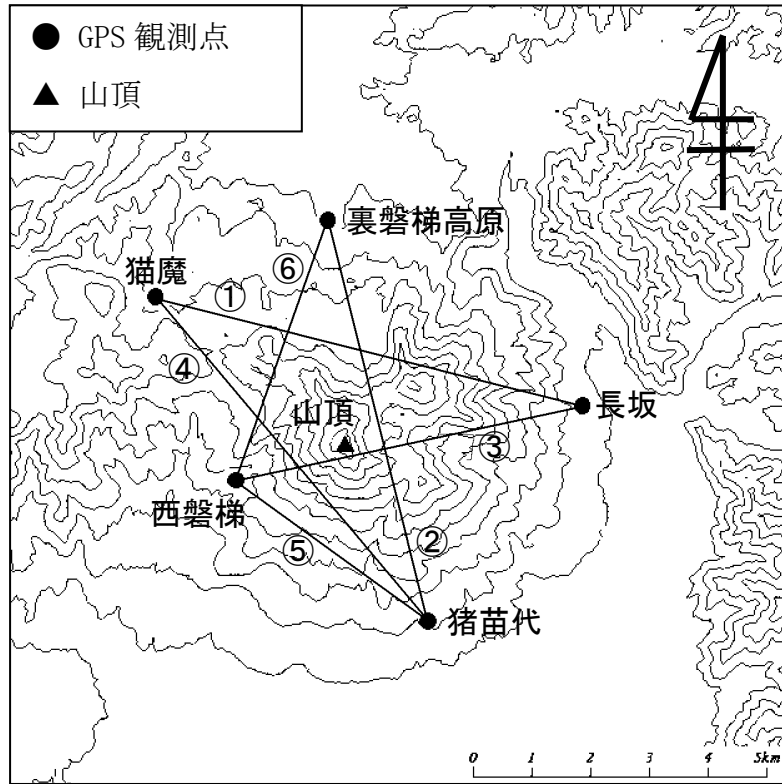


図5 GPS観測点配置図

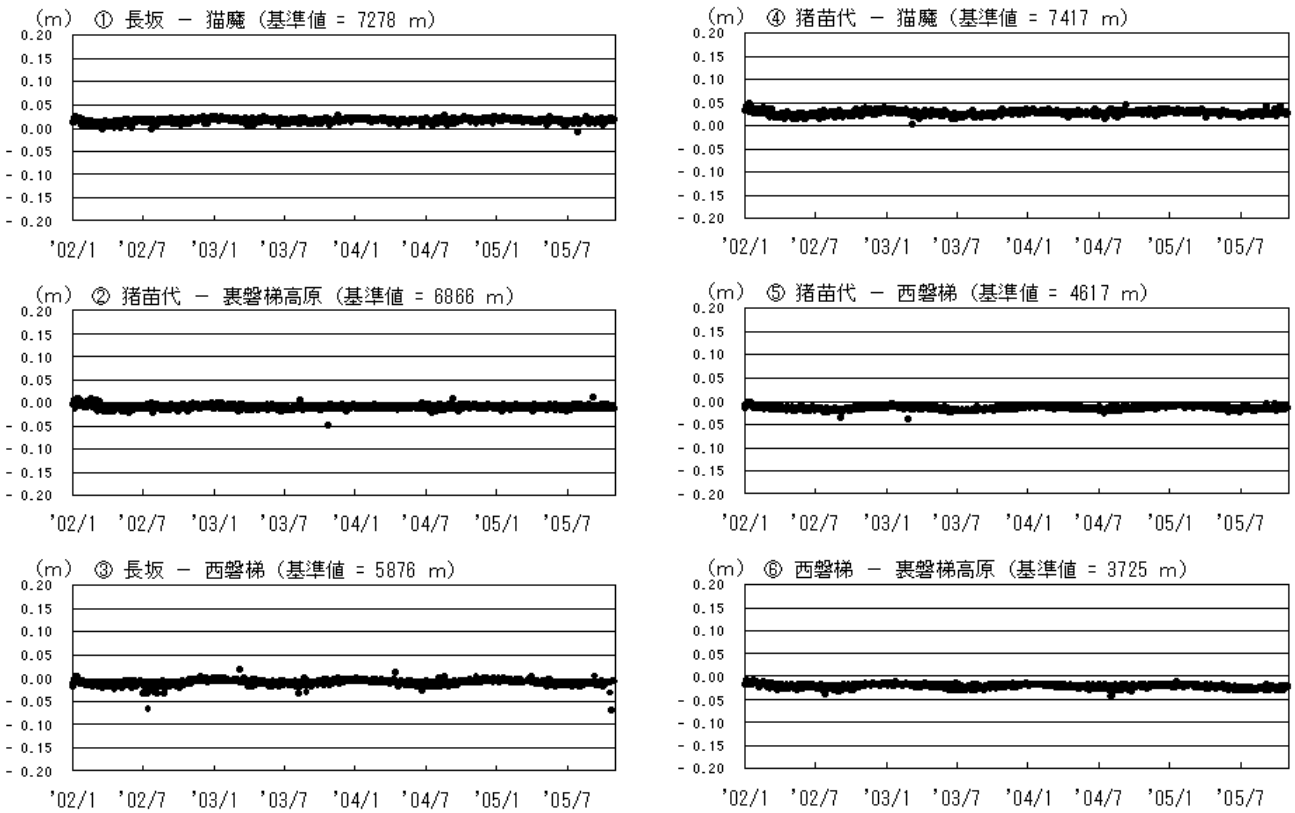


図6 GPS基線長変化図 (2002年1月~2005年10月)

現地観測の結果

6日に現地観測を実施しました。その結果、今年5月の現地観測結果と比較して噴気・地熱地帯の状況に変化はなく、静穏な状態が続いている。

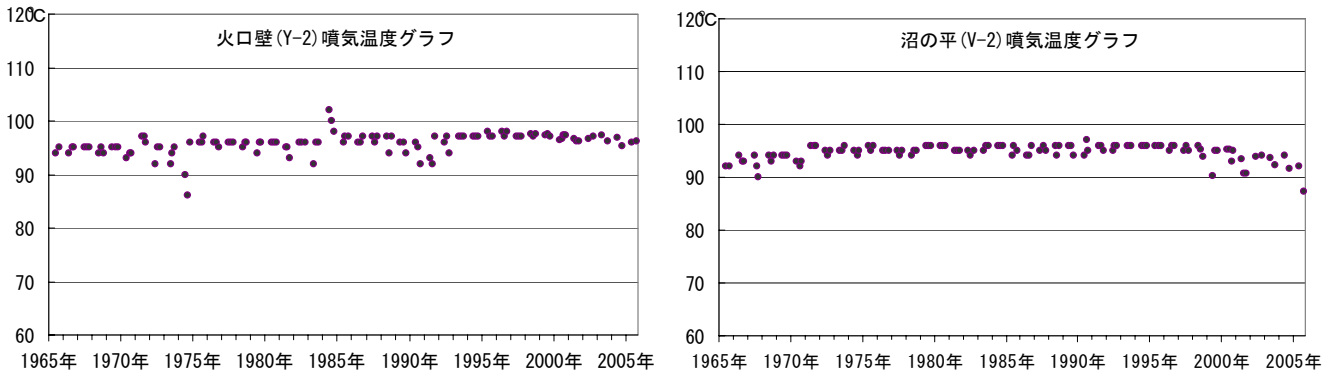


図7 火口壁（左：Y-2）と沼の平（右：V-2）の噴気温度²⁾変化
（データ期間：1965年7月～2005年10月）

※沼の平（V-2）及び火口壁（Y-2）の噴気温度²⁾は、1965年7月の観測開始以降、ほぼ一定しています。

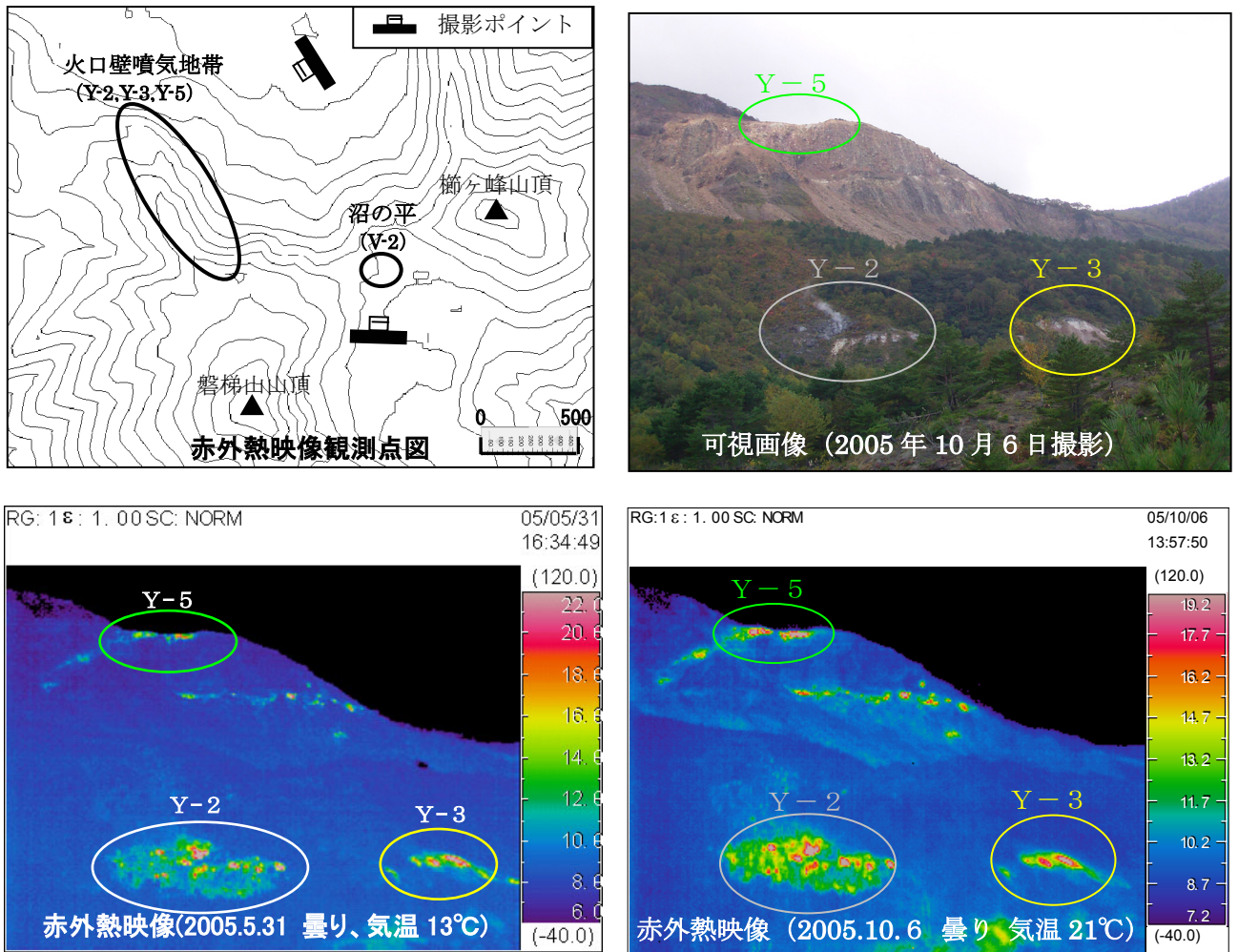


図8 火口壁噴気地帯（Y-2, 3, 5）の可視画像と赤外熱映像解析図¹⁾
（左下：2005年5月31日、右下：2005年10月6日）

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) サーミスタ温度計で測定。サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器である。